

やなぎはら 柳原地区住民自治協議会だより

平成26年3月15日発行 発行責任者 住民自治協議会 会長 原田 篤穂 第19号

笑って学んだ防犯啓発講座

2/8

安全防災部会では、「知れば安心！ 消費者トラブル笑ってガード」と題した防犯啓発講座を開きました。講師には上方落語会の正統派として注目されている林家染二師匠においでいただきました。講座は二部構成で、一部は昨今社会問題化している悪徳商法の手口を実際にあった事案を織り交ぜ、面白おかしく笑いに包みながら被害を防ぐにはどうしたらよいかというお話をしていただきました。二部は古典落語の名作を柱に悪徳商法を盛り込んだ創作落語を聞かせていただきました。



一部の講座、二部の落語とも会場は笑いの渦が沸き起こり大変盛況のうちに講座を終了することができました。



なお、当日はこの冬一番かと思われる寒波により大変な大雪にみまわれ、受講者の来場が危ぶまれましたが荒天をおして多数の方々においでいただきましたことを、この場をお借りしてお礼申し上げます。

- 【Yさんの感想】とてもおもしろかった。機会があればまた参加したい。
- 【Tさんの感想】とてもよかった。普段、の生活のなかでは気づきにくい詐欺の手口を面白おかしくお話していただいてとても参考になりました。雪がなければもっとお客さんが来てくれたらと思う。またぜひこのような講座を企画して欲しく思います。
- 【Kさんの感想】目の前で落語を聞くことは初めてで、大変貴重な経験をさせていただきました。講演は、近頃増加傾向にある詐欺事件について、通った声で冗談も交えながら分かりやすく解説いただき、実際に詐欺に対してどのような対応をとれば回避できるのか、改めて考える良い機会となりました。落語の部は、笑い通しでした。語りは止まらないのに内容が流れるように変わり、そのすべてが面白いというもので落語とはこういうものなのだと思いました。有名な寿限無も生で聞けて、大変満足でした。また機会があれば講演、落語ともに聞きたいと思います。…そのときは大雪の降る天気で無いことを祈ります。



*** 写真に見る柳原の今昔 ***

今回は柳原の戦時中の様子を少しお届けします。



出征家庭の稲刈りをする勤労女子学生



軍事物資を荷造りする(縄の供出)。昭和18年3月12日 布野第一農事組合製縄供出共同作業 第一回供出810貫



昭和12年 出征兵士を送る(柳原駅)

新年祝賀式・祝賀会

1/5

～100名以上の方々に新春をお祝いしました～



中野清史夫妻の伴奏により「一月一日」を歌い、新年を祝いました。長年ボランティアで通学路の登下校を見守っていただいた、小島区の藤澤孝則さんに感謝状をお渡ししました。



村山区の保存会が獅子舞を披露

子ども遊び大会

1/25

柳原小学校の青木校長先生に講師を務めて頂き、わら馬作りが行われました。当日は大勢の子ども達が集まり、校長先生の説明を聞きながら各自のわら馬を作りました。子ども達には少々難しく、お母さんに手伝ってもらいながら作りあげていました。



手作りのぬくもり 『HAND』コンサート

2/14

外ではハート型のバレンタインイルミネーションが点灯され、中では放課後子どもプラザの皆さんの手作りリースが飾られ、ぬくもりあふれるコンサートになりました。



東部文化ホールホワイエにて

地域福祉大会 「お互いさまの地域づくり」

2 / 1

各地区での“お茶のみサロン”“ふれあい会食”を行った内容などが楽しそうな写真とともに発表されました。引き続き駒ヶ根市社会福祉協議会の梶田ひと美さんによる「助けて」といえる環境作りと題した講演がありました。ご主人の勤務の都合でユーゴスラビアで3年余り厳しい環境の中、生活した体験談でした。人は支え合うもの、助け合わなければ暮らせない、お互いの信頼、心豊かに楽しいお付き合いの大切さをスライドを通して話してくださいました。力強いメッセージに福祉の大切さを教えていただいた気がいたしました。



なんとかしたいよね

今回の2週連続の大雪には本当に困りました。「後から後から降る雪にいつまで雪かきすればいいの…」あちらこちらでこんな声がきこえました。市内のある地区では、かききれない雪に困って以前からボランティア活動で交流があった地区内にある高校の生徒さんに応援を頼んだところ、大勢の生徒さん方が駆けつけてくれたそうです。



14日、学校周辺では高学年の小学生たちが雪かきをしていました

また、普段はあいさつ程度のお付き合いしかなかった、とあるマンションの住人がみんなでスコップなど持ち寄り駐車場と大通りまでの道を開けたそうです。開通したときには自然発生的にみんなで万歳をしたそうです。翻ってわが柳原地区はどうだったでしょう。



隣り近所総出で雪かきの様子

それぞれのお宅の周りの道路、雪かき隊に応援をお願いしているお宅はそれなりに対処できたでしょう。では、そこを離れた小学校や中学校の通学路、まわりに住宅や商店は無いけど人通りがある歩道などはとても手が回りません。私も、とある歩道を雪かきし始めたのですがとても一人でこなせる程のわけでも無く、恥ずかしながら途中であきらめました。あとは長靴で踏みつけてお茶を濁したのですが、こんなときに手伝ってくれる人たちがいたら助かるなあと思いました。



自分たちのまちの困りごとを自分たちで助け合って対処する、こんな時こそ頼りになる組織やシステムを考えておくのも必要なのかなと思います。みんなで知恵を出し合って柳原に合った対処方法を探してみませんか。

介護者のつどい

2/22

介護者の日頃の悩みなどの解消や、より良い介護につなげるために、介護者同士で話し合える場です。介護者同士経験等をふまえ活発な意見交換が交わされていました。介護予防あれこれ講座も開かれ講師の方から丁寧な指導、助言もいただきました。参加してよかった、もっと開催回数を増やしてほしい、という意見もありました。

認知症サポータ講座

1/22

今回は松代のキャラバンメイトの方々に来ていただき、認知症についてのお話や寸劇を披露してもらいました。誰もがなる病気です。みんなで認知症について理解を深めることができました。



子育て広場 毎月開催中

みんなで遊んだり、おしゃべりしたりする集いの場です。子育て中の皆さんが集まっていますので、仲間づくりや情報交換などが出来る場です。お気軽にお越しください。

◆毎月第2・4水曜日

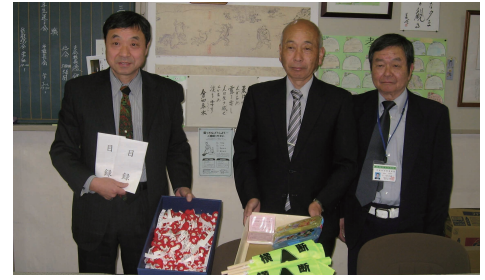
午前10時から11時30分まで柳原公民館
大学習室にて

◆対象者 就園前のお子さんとその保護者の方
※申込みは不要です。直接お越しください。
年に数回、保健師の方がみえます。

新1年生に



もうじき黄色い帽子をかぶった新1年生が登校するようになります。地域の



横断機と手作りマスコットを贈りました

みなんであたたかく見守っていきましょう。

新1年生のみなさん、仲良く交通ルールを守って楽しく登校してくださいね。

高齢者交通安全モデル地区の活動

地域住民の皆さんと一体となって推進することにより、地域の交通安全意識を高め、増加傾向にある高齢者の交通事故の減少を図るものです。住民自治協議会では、さまざまな場面で交通安全を呼びかけ啓発活動を展開しました。これからも、事故のないよう交通安全を心がけましょう！

◆球技大会ゲートボール会場にて啓発活動<東北交番所長のお話>

◆ナイトスクール<夜光反射材体験教室>

◆チャレンジ号による運転適性検査

◆シニアカー試乗会

◆各区お茶のみサロンでの交通安全教室

敬老会で、交通安全に関する寸劇を予定していましたが台風で中止となりました。

『安全で安心して暮らせるまち』は、住民自治協議会設立の趣旨の4大項目の一つです。



引き続きご協力お願いいたします



ベルマーク

柳原小学校、東北中学校にそれぞれ2,000点余りを送ります。エプソン、キャノン、ブラザーの使用済みインクカートリッジ、お家で集めているベルマークを事務局にお持ちください。

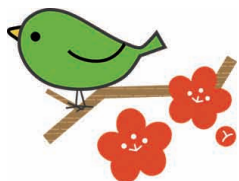
◆自治協だよりに広告を出してみませんか！

広報紙「柳原地区住民自治協議会だより」に掲載する広告を募集しています。お気軽にお問い合わせください。広告代は当協議会の運営費として活用させていただきます。また情報紙「いきいきわがまち やなぎはら」への掲載も募集しています。

編集後記

「さくら」好きですか？つぼみがほころびかけた桜、はらはらと散る桜、満開の桜。それとも、「さくら」嫌いですか？自分とちがう感性・意見を持った人に対し、肯定的に受け入れられるか、それとも受け入れることができないか。人はそれぞれであるからこそ面白いのだと多少の軋轢は楽しむくらいの度量がほしいか…

【あ】



柳原地区住民自治協議会

長野市小島 804-5 柳原総合市民センター内 TEL・FAX217-2365

いきいき わがまち やなぎはら

検索

E-mail : yanagihara-jiti2365@drive.ocn.ne.jp

お気軽にお立ち寄りください。

